学校適正配置地元代表協議会資料　「学校の適正規模について」追加資料

小学校の学校規模別の少人数学級と少人数加配について（４０人学級編制とした場合）

小規模小学校（１１学級以下）

学年あたりの学級数
　０．５学級　～　２学級
学級人数の可能性
　１人　～　４０人（最大）

平成２０年度実際（４５校中）
最小学級人数７人、最大学級人数３９人
○各学校の平均学級人数
　１１人～３１人（４５校の平均２４人）
○少人数教員配置率　約６０％

適正規模小学校（１２～１８学級）

学年あたりの学級数
　２学級　～　３学級
学級人数の可能性
　２０人　～　４０人（最大）

平成２０年度実際（３７校中）
最小学級人数２０人、最大学級人数３９人
○各学校の平均学級人数
　２３人～３４人（３７校の平均３０人）
○少人数教員配置率　約８０％

準適正規模小学校（１９～２４学級）

学年あたりの学級数
　３学級　～　４学級
学級人数の可能性
　２７人　～　４０人（最大）

平成２０年度実際（２８校中）
最少学級人数２７人、最大学級人数３９人
○各学校の平均学級人数
　３１人～３５人（２８校の平均３３人）
○少人数教員配置率　１００％

大　少人数学級になる可能性　小

小　少人数加配教員（県費）や少人数学習指導教員（市費）の配置率　大

少人数教育

少人数学級
（少人数の学級編制とする方法）

少人数指導（少人数の学習集団をつくる方法）
①一つの学級を複数の教員で指導するティーム・ティーチング
②学級を分割したり、同学年の児童を一度まとめた上で複数のグループに再編する。（習熟度別指導等）